

# (26087C) 地域資源を活かし、気候変動に対応したブドウ新品種の早期育成と気候変動影響評価

**事業名** イノベーション創出強化研究推進事業(開発研究ステージ)

**実施期間** 平成26年～30年度(5年間)

**研究グループ** (国研)農研機構果樹茶業研究部門、山梨県果樹試験場、福岡県農林業総合試験場、岩手県農業研究センター、石川県農林総合研究センター農業試験場砂丘地農業研究センター、愛媛県農林水産研究所果樹研究センター、鹿児島県農業開発総合センター

**作成者** 農研機構果樹茶業研究部門 杉浦俊彦

## 1 研究の背景

地球温暖化により、ブドウでは着色不良、収穫時期の変動などが深刻な問題となっている。このような気候変動のなかでも安定生産でき、なおかつ実需者および消費者ニーズに合致した新品種の開発を目的とする。

## 2 研究の概要

台風の豪雨を回避できる早生の白ワイン用醸造ブドウ品種および優れた赤ワイン用醸造ブドウ系統の開発、高温下でも着色良好な施設用生食ブドウ品種および皮ごと食べられる施設用生食ブドウ系統の開発を行った。

## 3 研究期間中の主要な成果

- ① 台風の豪雨を回避できる早生の白ワイン用ブドウ品種「コリーヌヴェルト」の開発と栽培手引き書の作成
- ② 高温下でも着色良好な生食用施設ブドウ品種「涼香」の開発と栽培手引き書の作成
- ③ 果皮着色からみた生食用ブドウ適地の変化を予測

## 4 研究終了後の新たな成果

現在の主力ブドウ品種「巨峰」および新品種「涼香」の着色不良発生頻度予測マップの公開

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/agrmet/75/2/75\\_D-18-00032/\\_pdf/-char/en](https://www.jstage.jst.go.jp/article/agrmet/75/2/75_D-18-00032/_pdf/-char/en)

[https://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/publication/pamphlet/tech-pamph/131034.html](https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/131034.html)

## 5 公表した主な特許・品種・論文

- ① 品種登録第25694号ブドウ品種「涼香」を品種登録(H29年2月)(出願者名:福岡県)
- ② 品種登録第27393号ブドウ品種「コリーヌヴェルト」を品種登録(H31年3月)(出願者名:山梨県)
- ③ Sugiura T. et al. Prediction of skin coloration of grape berries from air temperature The Hort. J. 87, 18-25 (2018).

## 6 開発した技術・成果の社会実装(実用化)・普及の実績及び今後の展開

### (1)社会実装(実用化)・普及の実績

- ① 苗木を販売中。2020年までに販売された苗木(「涼香」が約3700本、「コリーヌヴェルト」約250本)が、2024年には収穫可能となることから、果実が実用に供される見通し。
- ② ブドウ着色不良発生頻度予測マップは気候変動適応法に基づき自治体が策定する地域気候変動適応計画等で活用されている。

### (2)社会実装(実用化)・普及の達成要因

栽培手引き書の作成、研修会の実施、各品種特性の公開やブドウ着色不良発生頻度予測マップの公開等を実施したため。

### (3)今後の開発・普及目標

「コリーヌヴェルト」や「涼香」の普及により国産醸造ブドウ(ワインの原料)、施設生食用ブドウ生産の果実生産額を30%拡大し、あわせて260億円以上とすることを目標とする。

## 7 開発した技術・成果が普及することによる波及効果及び国民生活への貢献

- ① 本研究で得られたブドウ品種により、すでに影響が顕著な気候温暖化による醸造用および生食用ブドウの生産の不安定化が回避可能になるとともに、白ワイン原料の安定供給、地域のワイン産業の活性化、西南暖地を中心とした黒色ブドウの「赤熟れ」問題の解決への貢献が期待できる。
- ② ブドウ着色不良発生頻度予測マップは、生産者が策定する栽培計画や自治体が策定する地域気候変動適応計画で活用されることで、長期的な気候変動への対応への貢献が期待できる。

# (26087C) 地域資源を活かし、気候変動に対応したブドウ新品種の早期育成と気候変動影響評価

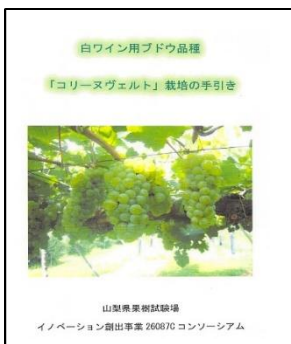
## 研究期間中及び終了後の成果

### 醸造用ブドウの開発



- ・酒質が優れた極早生白ワイン品種「コリーヌヴェルト」を育成
- ・早期に収穫できるため、東北地方から中四国地方のいずれの地域でも台風や秋雨の回避が可能

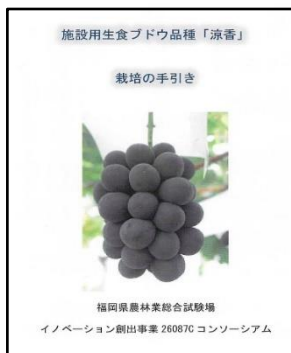
栽培手引き書の作成と繁殖用母樹の育成により、普及と種苗の安定供給をサポート



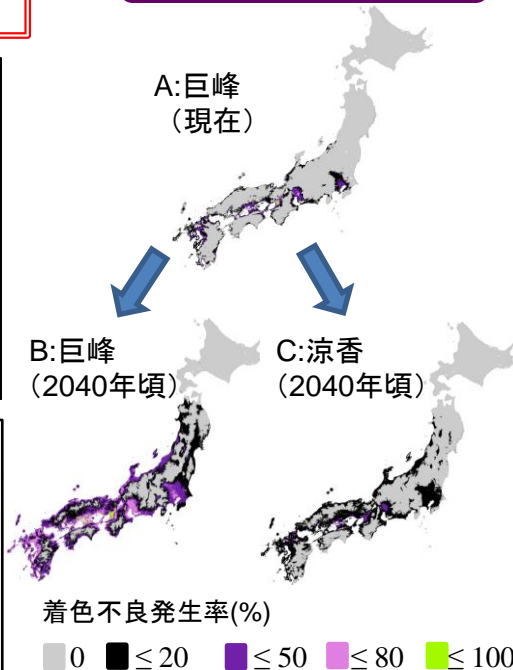
### 施設用生食ブドウの開発



- ・極早生、着色良好な大粒品種としての「涼香」を育成
- ・中部地方から九州南部までのいずれの地域でも良着色、早生であることを確認



### ブドウ着色不良発生頻度予測マップの公開



- ・現在の主力品種「巨峰」(A)は、将来着色不良が大幅に増加する(B)
- ・「涼香」を用いれば将来も着色不良を防ぐことができる(C)

## 研究終了後の成果の普及状況

